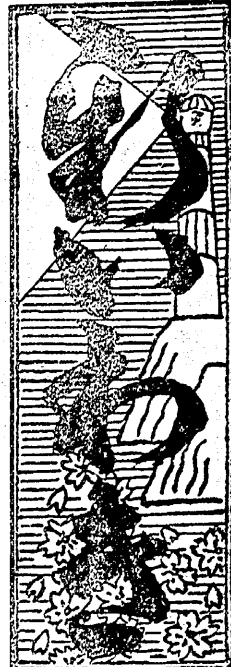


刊夕 日七十二月四



日刊 毎週日曜日出刊  
定価 一月 二十五圓  
三月 七十五圓  
半年 一百五十圓  
一年 二百五十圓  
郵費別 郵局掛金  
發行所 平野 中野 谷政喜  
印刷所 平野 中野 谷政喜  
新刊 新刊 新刊

### 第九回の事變國債 奉仕心の薄い富豪

#### 平局の割當消化好成绩だが 大部分中産前後と下産者

目下賣出し中の第九回支那事 債券に對する購入奉仕心は一 變國債平郵便局の割當では左 部富階級を除いては中産前 記の如く額面額五萬四千八百 二十五圓で内豫約三萬六千七 百廿圓に達し残るものは一萬 八千五百圓と云ふことになつ てゐるが昨廿六日の窓口新規 購入と豫約執行額は

十圓券一四枚 五十圓一枚

百圓十一枚 五百圓八枚

千圓十五枚

計二萬二千九十圓を消化し來

月六日の締切までは割當超

過の成績を上げて係員が大

意への活動中であつて今廿七

日も相當の賣上げを見せた同

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

### 待たる、蘇峰翁

#### 四月來平不可能

#### 五月は四國行に約束があり 六月中にと云ふ問ひ合せ

平市教育會が郡部會から分離 獨立したる第一回の總會と地 方各層の敬慕の士が相寄る蘇 峰會支部創立の發會式に臨ま れる管の徳富蘇峰翁は今年四 月來平、市公會堂に於て講演 されることは確定的なものとし て一般に待たれてゐるが翁 招聘の幹旋に努力されてゐる 平市出身の東日社員吉田素氏 からの報によれば翁が昨年十 一月末平歸通過の際送迎の有 ことになつた

### 小川江の 水議員當選者

小川江筋水利議員廿七名の總 選挙は昨紙所報の如く廿五日 の改選の結果を平市及び神谷 村の分は報じたが残り一町五 ヶ村の當選者左の如くである

▲上下小川村 柴崎佐之吉 納崎次郎 草野村 藤崎 久之助 芳賀村 中根 秀次郎 大場音次郎 阿部 勝造 渡邊重彌 柳家富一郎 櫻村清作 大浦村 木村清治 根本權次郎 猪狩義平 片 寄左京 酒井良平 大野村 金成久米太 四倉町 門馬公 平(以上)

### 石城郡南に於ける 小學兒童の激增

#### 軍需インフレを喜ぶ半面に 校舎の増築で大頭痛

石城郡南富田方面は錦村に 於ける昭和八年度に於ける 小學兒童の激增即ち去る 昭和十年の七百五十餘名が五 百餘名増す一千二百に十一 年秋二萬圓で増築した校舎に 溢れを告げ更に四萬圓を投じ増 築中であるものの其の隣接川部 村は七年度の八百五十名が 二百五十名を増加する一千 餘名に第二期から使はうと する五教室の増築に二萬二千 五百圓を投するも、又炭礦 景氣による勿來町は現在千七 百餘の兒童の收容に悲鳴を 上げるところへ大日本炭礦に於 ける新坑開鑿で尠くも二、三 百名の増加を見込まれる校舎

### 仙鏡平支所 新築落成式

仙台鎮山監督局では平市に置 く支所廳舎(宇四軒町二)新 築中であつたが竣功したので 來る五月四日午前十時新廳舎 に於て落成式を舉行する

### 平土木監督分區

平土木監督所では所員の異動 による管内道路河川分擔區域 の變更を左記の如く決し新任 者も全部昨二十六日赴任した ▲四倉方面藤澤技手 平方

### 支那單語

足のことばは脚の場合チ  
アオ、腿の場合トイ、  
掌は手掌兒でシオウチ  
アル、指は指頭でチー  
トウ、爪は指甲でチー  
チア、齒は牙でヤ、骨  
は骨頭でクートウと云

### 臨時國勢調査事務 務打合せ會

臨時國勢調査事務打合せ會は 來る五月十五、六、七の三日 間平市石城郡關係事務所に於 て開かれるが十六、七の兩日 は學事年報審査會も行はれ ると

### 慰問袋を寄託

平市宇大町久保田文子、同一 丁目小川江兩娘は小遣錢を 節約して持寄り勇士に贈る慰 問袋一個を今二十七日市役所 に寄託した

### 戦地の便り

面長谷川技手 上野野佐川 湯本遠藤 小名濱岡 飯田 相澤 蛭田川(改修渡邊) 木各技手

### 現地の二月末は 三四月頃の暖かさ

拜啓、その後御家族様には 御健勝にて御光あらせら る、事とは察し申上げます 幾回となく御敬謝の御書面 頂戴致しまして唯感謝感激 の外御座りません、御座候 以て勇躍大別御禮を美事 突破し十月二十日は完全に 武漢三鎮を陥落し郷土部隊 と約二月半漢口東北の地

### 大理想實現に奮闘

拜啓、益々御清榮の段奉大 賀候、扱本日(一月二十 三日)は誠に珍らしき内地 の品々多数御贈御送付下 され誠に有難く御禮申上候 御座候を以て小兵上陸以來 益々元氣旺盛軍龍在候間 御放念下され度候、今や南 支も小兵上陸當時と比し全 く其の趣を興にし皇軍の向

### カフエーで 酒の上の亂闘

小名濱町カフエー逢來茶花 やす方に於て去る二十四日午 後十時五十分頃飲酒してゐた 石城郡玉川村の大原小瀧川下 幸助(三)小名濱町宇橋本魚商 佐川勝一(三)兩名が同じく傍 らに飲酒中の同町上町下町商 吾妻平作(三)同町横町コック吾 妻久一(三)同町上町中野庄一 同食肉商古館典治(三)四名と 口論の末喧嘩をはじめ椅子ビ

### 亡友を偲ぶ切々の情

生憎旅行中だつたので面會 致し兼ねて、平の停車場を 出たのでした、千葉君は旅 行から歸られて私が召集さ れたことを知つて、びつり りして福島の目赤支部に訪 ねて呉れました、福島だけ では名残りは不充分だと云 ふので、同じ汽車で東京ま で送つて呉れました、千葉 君は私の手を堅く握つて文

### 平産看校出身の 産婆試験合格

本縣に於ける本年の第一回産 婆試験成績は此の程の發表で 總數百四名の合格を上げてお るが平産看校出身左記十七名 に達する好成绩である、尙ほ 看護師の合格發表は來る五月 上旬の由である

### 軍後へ寄附

平市五丁目馬目武之助氏は去 廿五日靖國神社臨時大祭に於 て金十圓を軍事後援會へ寄附

### 高級アルバム

種類豊富に入荷いたし ました、御贈答用とし て、御卒業、御入學の記 念として御利用を、

### 文 魁文堂

電話 3-1-3

政治家でした、下山田氏 年のことでしたが病重しと の電話によつて往診しまし た、見たところ病人らしく ありません、脊中を見た ら何んとならひ程もある大 きな創面であつたのです、 それでゐて顔面神経が末梢 の一枝たりとも微動だにし なかつたのです、我儘の強 いのに殺服した事がありま したが、平産君も父親の休 質を受けついで、強健その ものであつたのでした、

取敢へず御禮券々御挨拶ま で申上候、 上野野(砂防)鈴木 九面(船 溜)井上 小濱(船溜)佐々 木各技手

